

協同組合人

2012.10

京都府協同組合連絡協議会ニュース

NO.62

京都府協同組合連絡協議会はJA(農協)、JF(漁協)、森林組合、生協等の京都府内の協同組合運動相互の連絡提携、共通課題の実行を目的に活動をすすめています。

人いきいき



舞鶴市森林組合

参事 内田 正裕 さん

●プロフィール●

昭和34年生まれ

平成24年4月より現職

元気な組合になるために、「人」を大切に

この春、舞鶴市森林組合の参事に就任された内田正裕さんは、就任早々組合のキーパーソンとして日々奮闘されています。

管内の森林や森林組合のことについて内田さんに聞いてみました。

「舞鶴の山は思っていたより急峻で、人工林率は低いんですが、こんなところにも植林がしていると驚かされるんです。そんな林を見たら、先代の方々の山を思う気持ちが伝わってきます。舞鶴の山は海に面している事もあって、海の環境を守るには、海に注ぐ川、その上流の森を守る事の大切さを教えられます。」と内田さんは、山への思いを話されました。

日々の仕事をするに当たって心がけていることを聞いてみると、「基本的な事なんですけど、組合員さんとの日頃からの関係を大切にしていきたいんです。」

そして、「多くの事に気づかされる、森林組合の仕事は、様々なところで社会に貢献して、とても働き甲斐のある職場なんです。」と、生き生きと語る内田さん。

どんな組合になりたいですかと聞いてみました。

「舞鶴市森林組合は元気だなあ〜と言ってもらえるような組合にしたいんです。その為には何が必要かを考えてみると、公平公正な澄んだ目で自分自身に問いかけることが、明るい元気な森林組合にする。また、あり続ける一歩ではないかと考えているんですよ。舞鶴市の森林・林業の担い手としてリーダーシップがとれるよう、職員の一人ひとりが自覚すると共に、一体となって考え行動する体制と基盤整備を図り、何より大切な地域からの信頼が得られるように頑張っていきます。」

お話を伺いながら、元気な組合になる予感がありました。